

# つなぐ

八代市地域学校協働本部（生涯学習課内）

令和5年10月2日発行 ☎0965-30-1110

## 地域の「ひと・もの・こと」を生かした 実践とつながり！

子供たちと地域の方々が時間と空間を共有し、つながることのできる日々。

関わり合うことを遠慮しなければならない期間が長かった分、このような日々が有難く感じられます。今号は1学期後半から9月の活動報告を特集してみました。

### ① 教科の授業で



**郡築小（家庭科） 6月**  
「5年生の基礎縫いとボタン付けの支援に行きました。玉結びから本縫い、仮縫い、かがり縫い、ボタン付け・・・と上手にできました。」



**二見小（生活科） 6月**  
「2年生の町探検がありました。田んぼのオタマジャクシや魚の群れに歓声が上がり、にぎやかな探検となりました。」



**代陽小（国語・算数） 9月**  
外国にルーツをもつ児童の学習支援

週に3時間、4人のサポーターが交代で支援されています。ひらがなや短文の練習だけでなく、算数の支援も行われていました。

※コメントに「」が付けてあるのは、地域コーディネーターさんや関係者の方のコメントを、そのまま掲載したものです。



### ② 特別活動・総合的な学習の時間に



**東陽小学校 6月 災害体験談**  
「約50年前に東陽で大洪水があったそうです。元消防士の方から、その時のことをお話しいただきました。」



**文政小 8月**  
安全マップづくり

「小学校6年生の安全マップ作りについて、子供たちが気づいた危険箇所を地図に記入したり、付箋を貼ったりする作業の事前話合いや、注意事項の確認を行いました。」

「6年生が各地区の危険箇所や空き家等の現地調査を行いました。区長さん、民生委員さん、交通指導員さんたちに助言や協力していただきました。」

### ③夏休み



**有佐小 8月**  
「6年生と地域のボランティア団体と防犯パトロール隊の皆さんと一緒に、有佐駅周辺の美化作業を実施しました。年に2回予定しています。」



**八中 8月 愛校作業**  
「生徒、保護者、地域住民、総出で心地よい汗をかきました。」



**植柳コミセン 7月～8月**  
「うやなぎ子どもの家」での学習サポートの様子です。「喜んで参加してくれています。学校とは異なる一面を見せてくれますし、異学年での交流もできます。サポーターの方々も楽しみにしております。」

### ④地域の伝統・地域に貢献



練習風景



**宮地小 6月**  
**宮地和紙の葉作り**  
「八代港に入港するクルーズ船の観光客が妙見宮に来られるので、お土産用に作成したものです。」

**東陽中 8月 銭太鼓バチづくり**  
「県立劇場で伝統芸能の銭太鼓を披露することになり、バチを新調しました。丸2日かけて45本を作り上げました。子どもたちの晴れ舞台のお手伝いができてよかったです。」

### ⑤地域未来塾(四中)



前期の期末試験中もがんばっていました。



## 夏季期間中の学校訪問、お世話になりました！



この夏は、地域コーディネーターが交代された学校や新規で加わられた学校（代陽小・麦島小・文政小・一中・四中）を訪問させていただき、意見交換を行いました。

新規コーディネーター、現コーディネーター、校長先生または教頭先生、担当の先生とともに、今回はじめて退職校長会の地区担当の方も参加されました。

意見交換では、校区の状況をもとに、それぞれの立場からの感想や気付き、アイデアなどを交換しました。どの校区でも、新規コーディネーターの方々が活動の内容を掌握しつつ、校区の子供たちへの愛情と期待、責任感をもって取り組んでおられる姿があり、スムーズなバトンパスができていたようでした。

ある校長先生が「ドラえもんのように『こんなこといいな、できたらいいな♪♪』というイメージで、その時その時の発想を大事にしていきたい。そして、無理せず、『できるしこ』という考え方で続けていきたい。」と言われました。

コロナ禍が（一応）落ち着き、多くの学校で、活動が再開されています。「何もかも再開」ということではなく、「学校のニーズ」や「地域の資源『ひと・もの・こと』」をつなげながら、充実した活動を模索していただければ、子どもたちのよりよい成長につながると思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

【編集後記】 子供たちの息遣いを直に感じたり、地域コーディネーターさん、サポーターさん、先生方の思いに接したりしたいなと思っています。可能であれば授業や事業の様子を参観させてください。連絡をお待ちしています。(30-1110) (事務局より)